

私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

ティスポーザー排水処理槽 私たちは、二酸化炭素排出削減・メンテナンスを実践しています！！

①中継ポンプ槽に多量の油脂堆積



旋回流発生装置設置



油脂ゼロポンプ槽で引抜ゼロ実現



②好気処理槽：SV:80% 汚泥引抜寸前



DSP・HVシステム：臭気ゼロ・汚泥減容装置設置



SV:10%以下 汚泥引抜不要を実現



③沈殿槽、スカム堆積で引抜待ったなし



スカムゼロ、引き抜き不要を実現



水物語 No88

夏の風物詩・蛍は、なぜ光るの・・・？



夏が近づくと日本の里山のきれいな小川では、光り輝くホタルが見られます。遠い昔近くの里山へ「ホタル狩り」に出かけました。そこでは神秘的な光の競演を堪能することができました。幻想的な不可思議な光景でした。

蛍は、お尻を発光させることによって、仲間とコミュニケーションをとっているとされています。世界では4,000種、日本では40種が確認されています。このホタルの全てが光る訳ではないそうです。

日本で発光する蛍は、ゲンジボタルとヘイケボタルなどです。夜光りながら乱舞するゲンジボタルほとんどがオスです。メスは草や木の葉に小さな光を出してじっと止まっています。光には、プロポーズのために光る光、刺激された時に光る光、敵を驚かせるための3種類とも言われています。

蛍はお尻に、黄色く見える発光器をもっています。その中には「ルシフェリン」と「ルシフェラーゼ」という酵素があります。この2つの物質と体の中の酸素が反応して光を出しています。蛍の光は、「ルシフェラーゼ」の働きで電球のように熱くなりません。今年の夏、蛍は各地の里山で乱舞し、光の演出でコロナ禍の 私たちを癒してくれることでしょう。

油脂ゼロ・流入ポンプ槽推進中！
DSPハイブリッドシステム推進中！
株式会社クリーンテックサービス東京